

2019年8月21日

## 福島第二原子力発電所 3号機使用済燃料プールにおける 異物の発見・回収に関する原因と対策について

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所

### 1. 事象の概要（発生状況）

2019年6月27日午前11時45分、当所3号機原子炉建屋6階使用済燃料プールにおいて、パトロールを行っていた当社社員が同プール内に異物らしきもの（ワッシャーのようなもの）があることを確認しました。

[\(2019年6月28日お知らせ済み\)](#)

その後、2019年7月11日午前11時40分頃、使用済燃料プール内より異物らしきものを回収し、ナット（金属製、大きさ約2.7cm×2.4cm、厚さ約1cm、内径約1.6cm）であることを確認したことから、同日午後4時20分、異物であると判断しました。

なお、当該ナットによる使用済燃料プール冷却機能や設備への影響はなく、外部への放射能の影響もありません。

[\(2019年7月12日お知らせ済み\)](#)

これまでに3号機原子炉建屋6階使用済燃料プールに当該ナットが混入した原因等について調査した結果を、以下のとおり、取りまとめましたのでお知らせします。

### 2. 調査結果

#### (1) 至近の作業確認

使用済燃料プール周辺における至近の作業実績を確認しましたが、当該ナットが持ち込まれたり、作業に使用した工具類や機材類に使用された実績はないことがわかりました。

#### (2) 使用済燃料プール周辺機器の確認

使用済燃料プール周辺の機器を調査したところ、同型のナットは、使用されていないことがわかりました。

#### (3) 過去調査の再確認

調査結果（1）および（2）より、混入原因を特定できなかったことから、過去に調査（3号機使用済燃料プール床面調査：2014年3月25日実施）した際のビデオ映像を

再確認したところ、当該ナットが回収された同一位置に、光りに反射するほぼ同じ大きさの円形のものがあることを確認しました。

以上のことから、過去に調査した際のビデオ映像より確認した円形のものは、当該ナットと同一のものであると推定しました。

### 3. 推定原因

調査の結果、当該ナットは、過去に調査したビデオ映像から 2014 年 3 月 25 日以前に混入したもので、至近の作業および機器等から脱落したものではないことはわかりましたが、使用済燃料プールへ混入した原因の特定には至りませんでした。

また、使用済燃料プールについては、2004 年 4 月以降、異物混入防止対策を強化しており、プール周辺エリアへの物品の持込み等の徹底を図っているため、回収した当該ナットについては、異物混入防止対策を強化する以前に混入したものと推定しました。

### 4. 対策

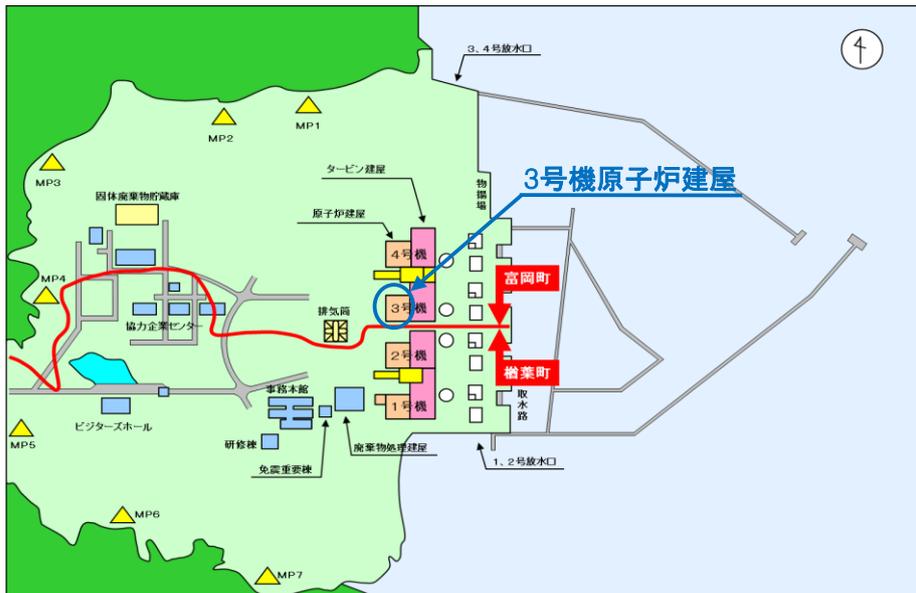
今後も、使用済燃料プール周辺エリアへの物品の持込み等の徹底を図るとともに、継続して異物混入防止対策を実施してまいります。

以 上

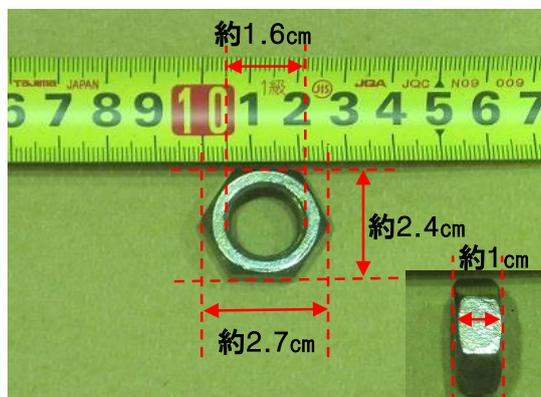
#### ○添付資料

福島第二原子力発電所 現場概略図

福島第二原子力発電所 現場概略図



<3号機 原子炉建屋6階(平面図)>



回収した金属製のナット



過去調査の再確認により確認された金属製のナット  
(2014年3月25日実施)